

韮崎 – 幻想的な停留所

山梨といえば、富士山や富士五湖周辺を思い浮かべる方が多いですが、日本全国、特に山梨の寺社仏閣が好きな人なら、山梨県韮崎市は外せない場所です。

韮崎駅に到着すると、すぐに「甲斐の虎」とも呼ばれる戦国時代後期最強の武将の一人、武田信玄公との記念撮影スポットが目に入ります。「甲斐の虎」という名前の由来は、戦国時代、山梨県は甲斐の国と呼ばれ、当時の領主の威光を示していたためです。

さらに少し進むと、色鮮やかな願掛け紙が掲げられたエリアがあり、韮崎駅の見どころとなっています。



ご紹介する韮崎市のパワースポットは、韮崎駅から徒歩約5分、岩が崩れてできた七里岩の真下にある雲岸寺です。当初、この寺院は真言宗の道場として設立され、江戸時代初期(1663～1699年)に曹洞宗に改宗されました。このお寺の窟観音は非常に有名です。空海が観音石仏を安置し、観音菩薩への敬意を表すために千体の仏像を備えた式場を建てたとされています。



最初の部屋は「千体仏」と呼ばれ、同じ大きさの千体の仏像が同じ方向に配置されているという意味です。この仏像はすべて1667年から設置されています。これは毎日、毎月参拝する人々のためのもので、千体の仏像の中には必ず一体は参詣祈願者の目と目が合う千体仏があると信仰され、これが祈願千体仏の心であると信仰祈願されてきました。現在では、合格祈願、学業成就祈願、子宝祈願、健康祈願、商売繁盛祈願など、様々な願いを込めて参拝される方が多くいます。



続いては、828年に弘法大師僧空海が当地の平安を願い御造りになられた石像です。祖師信仰厚く、弘法大師僧空海を民衆信者が「お大師さま」と崇敬されています。



次の部屋は窟観音本殿で、828年に空海が当時の民衆の足である馬(当時の人々の強力な移動手段の1つ)の安全と民衆の家内安全を願い作られた石像です。中央には家内安全と交通安全を祈っている本尊聖観世音菩薩がいます。左側には地獄の裁判官であり、この世の悪業を清める十王尊がいて、右側は心の鏡を照らすと伝えられている心鏡があります。



少し進むと雲岸寺のメインエリアが見えてきますが、残念ながら私が訪れた時は行事が行われておらず、本堂内に入ることができませんでした。行事の日にお越しいただく機会があれば、本堂の素晴らしさをご覧くださいませ。



雲岸寺から徒歩約10分のところに、日本の霊峰富士山の方を向いた高さ約16.6メートルの平和観音像があります。この像は人々の平和と登山者の安全を祈り、1961年に建てられました。この像は関東地方の代表的な3ヶ所の観音のうちの一つとされています。七里岩の頂上にあるので、晴れた日には美しい富士山と韮崎市街を一望できます。



今回も山梨県にあるもう一つの興味深い神秘的なスポットをご紹介します！
韮崎市に遊びに行く機会があれば、是非この場所を訪れて、素晴らしい
景色を見てください！